

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	キャリアトレーニングⅡ		授業形態 / 必・選	講義	必修					
			年次	2年次						
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	41回（82単位時間）	年間単位数	2単位					
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース									
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒									
担当講師 実務経歴										
授業概要										
文章や言葉を用いたコミュニケーション技術を学び、仕事をする上での対人スキルを学ぶ。										
到達目標										
SNS時代の文章などカジュアルなものから、社会人としてのフォーマルなものまで、一通りの言葉を用いたコミュニケーションについて理解し、部分的にでも使える様になっている。										

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	文章の種類、語彙を増やす（対義語、類義語など）。
【前期】 6～8回目	文章を書く際の決まり。 思考訓練。 説明がうまくなるには。
【前期】 9～12回目	物事の大意、芯をとらえる。 伝わる説明とは。
【前期】 11～16回目	体験したことを文章にする。 雑誌の記事を書いてみよう。
【後期】 17～20回目	質問力を高める。 食レポに挑戦。
【後期】 21～25回目	SNS時代の文章のまとめ方。 紙資料を作ってみよう。 論理的思考の為の練習。
【後期】 26～30回目	メールや手紙など実用的文章について。
【後期】 31～36回目	報告書や折衝など条件のある文章。
【後期】 37～41回目	エッセイ。評論文。テーマのある小論文の書き方。 総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	教室内は飲食不可。配布プリントの取扱いに注意してください。
使用教科書	適宜授業プリントを配布。

専門学校E S P エンタテインメント東京

授業科目名	音楽スタッフ総合実地演習Ⅱ		授業形態 / 必・選	演習		必修
			年次	2 年次		
授業時間	180分（1単位時間45分）	年間授業数	8回（32単位時間）	年間単位数	2 単位	
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース					
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐					
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。					
授業概要						
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。						
到達目標						
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。						

授業計画・内容	
1～7回目	学校法人イーエスビー学園主催イベント①～⑦
8回目	ライブエンターテインメントEXPO / InterBEE見学
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、タイムテーブル等を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名		舞台製作・楽器講座		授業形態 / 必・選	講義	選択必修
				年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	39回（78単位時間）	年間単位数	5 単位	
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース					
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経験：21年 楽器レンタル会社に所属の後にフリーランスとして15年ほど活動。担当アーティストの楽器・機材のケア、またイベントなどでの現地楽器、リハーサル時などではPAまわりも担当。 楽器の他に舞台監督としてアーティスト周年イベントなどでも活動。					
授業概要						
尺貫法や平台・箱馬の扱い方、楽器や周辺機材の知識・扱い方、各種セッティング等を学ぶ。						
到達目標						
マネージャーとして必要な各楽器の基本的なセッティング、メンテナンス方法、ステージ全体の構成等のノウハウの習得。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	舞台用語について 安全な機材の運び方 尺貫法について/バミリについて
【前期】 4～6回目	Time Table、Stage Plotの見方について ライブ現場での各セクションの動き
【前期】 7～10回目	ドラムについて シンバルスタンド類について ドラムのセッティング～ドラムのパーツケースへのしまい方（紐の結び方）
【前期】 11～16回目	ギター/ベースについて チューニング/弦交換
【後期】 17～20回目	アンプの種類について ギター・アンプの接続と音が出る仕組み ステージでのジェスチャーについて
【後期】 21～26回目	各種楽器スタンドの組み立て方 ピアノ・シンセ・オルガンの違い アンプ/PAから音が出る仕組み
【後期】 27～30回目	ギター/ベースの指板上の音階について コンボ/セバレート・アンプの構造
【後期】 31～37回目	アンプの各ツマミについて/音作り エフェクター各種
【後期】 38～39回目	年間の復習と総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	楽器の取扱いについては、講師の指示に従う事。また、機材在庫数の管理は細心の注意を払う事。服装については、学科規則に基づき遵守してください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	プロダクションデザイン実習		授業形態 / 必・選	実習		選択必修
			年次	2 年次		
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	82回（164単位時間）	年間単位数	5 単位	
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース					
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経験11年。 大学卒業後、印刷会社に勤務。ソフトスキルを習得後、デザイン会社に転職。 音楽業界・エンタメ関係のグラフィックデザインに従事し、現在に至る。					
授業概要						
会報制作や、グッズ制作などにファンクラブ運営に役立つデザイン知識を学ぶと共に、見積の取り方や、入稿作業等についての知識・ノウハウの習得する。						
到達目標						
プロダクションスタッフとしてのデザインやビジネススキルの修得。						

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	WEBとDTP（印刷物）の違いについて 入稿データ作成について（紙・グッズ）
【前期】 5～10回目	Illustrator／ロゴ作成 バンド紹介ステッカー、クリアファイル制作
【前期】 11～22回目	会報制作① 立案 ・取材 ・誌面制作 ・入稿 ・入稿確認
【前期】 23～29回目	デザイン／色について、レイアウトについて アクセス解析結果からみる（Googleアナリティクス・Twitter）WEBサイトの運用について
【前期】 30～42回目	会報制作② 立案 ・取材 ・誌面制作 ・入稿 ・入稿確認
【後期】 43～56回目	CDジャケット制作 企画～ジャケットデザイン撮影～デザイン。
【後期】 57～66回目	アーティストグッズ制作 企画 ・見積 ・デザイン ・プレゼン ・発注 ・納品確認
【後期】 67～78回目	会報制作③ 立案 ・取材 ・誌面制作 ・入稿 ・入稿確認
【後期】 79～82回目	デザイン課題制作 総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	制作物の取り扱いについては、著作権等注意すること。
使用教科書	授業資料として、CDジャケットテンプレートなどのフォーマットをデータで配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	メディア制作実習		授業形態 / 必・選	実習	選択必修
			年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	82回（164単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験12年。 イベント総合プロデュース会社で映像制作を中心とした業務に関わる。一方で個人でも映像制作を請け負い、ミュージックビデオをはじめ、幅広いジャンルのコンテンツを手掛ける。				
授業概要					
基礎的な映像編集技術を用いて映像コンテンツを企画し、映像を使った番組、CM等制作を行いネットメディアでの公開等について学ぶ。					
到達目標					
アーティストのプロモーション等につながる企画力の向上、また企画を形にするノウハウの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	プロモーション企画制作 マーケティングについて
【前期】 9～12回目	スチールカメラ撮影実習 仮アーティスト写真撮影
【前期】 13～24回目	ミュージックビデオ企画立案
【前期】 25～36回目	アーティストプロモーション動画の企画立案
【前期】 37～42回目	企画ライブに向けてのプロモーション動画企画
【後期】 43～56回目	企画ライブに向けてのプロモーション動画企画
【後期】 57～64回目	企画ライブに向けてのプロモーション動画企画
【後期】 65～78回目	CD発売記念ライブに向けてのプロモーション動画企画・制作 CD音源に対するプロモーション動画企画・制作
【後期】 79～82回目	CD発売記念ライブ映像の編集。
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	授業用パソコンは規約に従い、丁寧に扱う事。教室内は飲食不可。撮影データの保存については、講師の指定した方法で行ってください。
使用教科書	課題に応じた教材データ（動画や画像を含む）を配布。

専門学校 E S P エンタテインメント東京

授業科目名	プロダクション実習		授業形態 / 必・選	実習	選択必修
			年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	168回（336単位時間）	年間単位数	11単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：28年。 音楽ソフトの企画・制作からプロモーション、アーティストマネジメントに従事。その後、ヘアメイク、スタイリスト、カメラマン、デザイナーなどクリエイターのマネジメントに移行。現在も幅広く業務を行っている。				
授業概要					
アーティストの協力の元、ライブ制作、CD制作、ミュージックビデオ制作、プロモーションなど、プロダクションやレコード会社で行う一連の流れを学ぶ。					
到達目標					
プロダクションにおける業務の理解。					

授業計画・内容	
【前期】 1～12回目	年間実習予定について グランドスケジュールの作成
【前期】 13～24回目	ホームページ制作に関する会議 宣伝ツールとしてのSNS立ち上げ
【前期】 25～39回目	アーティストとの選曲会議 プリプロダクション立会い
【前期】 40～59回目	9月企画ライブに向けての7月ライブ実習 本番レコーディング～ミックスダウン～マスタリング立会い
【前期】 60～84回目	9月企画ライブの企画立案～準備～本番実施 アーティスト写真撮影（コンセプト立案～ロケハン～撮影準備～本番撮影） CDジャケット制作（準備～撮影～デザイン～入稿）
【後期】 85～104回目	ミュージックビデオ制作（コンセプト立案～照明・映像専攻コースとの打ち合わせ～撮影～試写・修正依頼） 宣伝資料準備
【後期】 105～123回目	宣伝プランニング立案とアタックリストの作成～メディア・アプローチ CDショッププロモーション
【後期】 124～143回目	12月企画ライブの立案～準備～本番実施
【後期】 144～168回目	2月CD発売記念ライブの企画立案～準備～本番実施
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	実習協力アーティストや学外とのメールでのやりとりは、必ずccに教務・講師を入れること。SNSを使用しているプロモーションは、学科規則にのっとり行う事。担当セッションごとに協力して実習を遂行してください。
使用教科書	授業資料として、商品登録申請書などのフォーマットをEXCELやP D F形式で配布。

専門学校E S P エンタテインメント東京

授業科目名	ProTools講座		授業形態 / 必・選	講義	選択必修
			年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	39回（78単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：28年 レコーディングスタジオで7年間アシスタントとして多くのことを学び、その後レコーディングエンジニアだけではなく、5000人規模のライブ録音や50人規模のライブPAなど音を操る場で幅広く活動。				
授業概要					
P C画面での音素材の加工や、ミックス作業を行う。					
到達目標					
Pro Toolsを使用したレコーディングに関するオペレーションスキルの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	DAW関連について Pro Tools、オーディオ・映像について
【前期】 3～7回目	Pro Tools基礎操作、ツールの機能について セッションの立ち上げ オーディオ録音について
【前期】 8～14回目	モニター・バランスの作り方 リヴァーブ/ディレイの操作方法 グループの作り方
【前期】 15～18回目	メモリー・ロケーション作成 イコライザー/コンプレッサー/エフェクターについて
【前期】 19～22回目	ヴォーカル編集について
【後期】 23～29回目	2ミックス編集について リズム編集
【後期】 30～34回目	ミックスバランスの作り方 オートメーション操作方法 ブラグインオートメーションについて
【後期】 35～38回目	オーディオ編集について ショートカットとその他の機能について
【後期】 39回目	年間の復習と総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	教室にあるMacの取扱いは講師の指示に従う事。教室内は飲食不可。各自イヤホンを持参してください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	音楽理論講座		授業形態 / 必・選	講義	選択必修
			年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	41回（82単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経歴：27年 大学にてクラシックピアノを学んだ後、ピアニストとして活動を開始。クラシック・ポピュラーミュージック・ジャズ等、ジャンルにとらわれず様々なレコーディングやライブに携わり、海外での演奏も行うなど精力的に活動中。				
授業概要					
五線譜を用意し、自ら音符を書き込む。 五線譜に書いた音符を手拍子等でリズムを表現する。					
到達目標					
音楽の構成を理論的に分析、把握する技術の修得。 楽譜の読み書きが出来る。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	音の三要素と音楽の三要素 音律(純音律と平均律)について 変化記号について
【前期】 5～10回目	記譜法 速度、強弱、奏法、省略記号に関する基礎知識 音階について
【前期】 11～14回目	音程について Major triadについて
【前期】 15～19回目	Minor triadについて augment triadについて
【後期】 20～24回目	diminish triadについて 4和音について
【後期】 25～30回目	Major 6thについて minor 6thについて
【後期】 31～35回目	☐ 7 sus4について ☐ 7 (♭5)について
【後期】 36～39回目	diminish 7thについて コードの回転
【後期】 40～41回目	diatonic chordについて リズムトレーニング
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	基本的な楽譜の読解を基礎から学びなおします。エンジニアに必要とされる譜面に対する知識を楽しく学んでいきましょう。
使用教科書	オリジナルテキストを随時配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	PA実習		授業形態 / 必・選	実習		選択必修		
			年次	2 年次				
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	84回（168単位時間）	年間単位数	5 単位			
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース							
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目						該当 ☒	非該当 ☐
担当講師 実務経歴	実務経験：43年。 大手楽器メーカーにてホール音響を担当後、ライブハウスの企画・音響に従事。その後自身の会社を立ち上げ、PA業務にとどまらず、リハーサルスタジオやライブカフェ経営などマルチなビジネスを展開している。							
授業概要								
ライブホールの機材を使い、セッティング、チェック、スピーカーチューニング、PAオペレートなどの作業を学ぶ。								
到達目標								
仕込みから本番までの P A に関するオペレートのノウハウの習得。								

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	ホール機材の説明 デジタルミキサーについて
【前期】 7～16回目	ステージ仕込み IN/OUT仕込み、チューニング、バラシ
【前期】 17～30回目	9月企画ライブに向けてのライブ実習準備～本番
【前期】 31～36回目	ステージ仕込み IN/OUT仕込み、チューニング、バラシ
【前期】 37～44回目	9月企画ライブに向けたプランニング、仕込み 本番オペレート、反省会
【後期】 45～56回目	様々な機材に触れる ・通常使用しているデジタル卓(YAMAHA M7) 以外にも、YAMAHA TF1やDiGiCo SD7などに触れる
【後期】 57～64回目	12月企画ライブに向けたプランニング、仕込み 本番オペレート、反省会
【後期】 65～71回目	ステージ仕込み モニター卓を組む
【後期】 72～84回目	2月CD発売記念ライブに向けたプランニング、仕込み 本番オペレート、反省会
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	ホール内は飲食禁止。服装は学科規則に基づき遵守すること。セット図、セットリストの取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	授業資料として、デジタルミキサーの取扱説明書をデータで配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	楽器・舞台制作実習		授業形態 / 必・選	実習	選択必修
			年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	84回（168単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：22年 楽器レンタル会社に所属の後にフリーランスとして15年ほど活動。担当アーティストの楽器・機材のケア、またイベントなどでの現地楽器、リハーサル時などではPAまわりも担当。 楽器の他に舞台監督としてアーティスト周年イベントなどでも活動。				
授業概要					
尺貫法や平台・箱馬の扱い方、楽器や周辺機材の知識・扱い方、各種セッティング等を学ぶ。					
到達目標					
コンサートスタッフとして必要な各楽器の基本的なセッティング、メンテナンス方法、ステージ全体の構成等のノウハウの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	舞台用語について 安全な機材の運び方 尺貫法について/バミリについて
【前期】 7～12回目	Time Table、Stage Plotの見方について ライブ現場での各セクションの動き
【前期】 13～20回目	ドラムについて シンバルスタンド類について ドラムのセッティング～ドラムのパーツケースへのしまい方（紐の結び方）
【前期】 21～32回目	ギター/ベースについて チューニング/弦交換
【後期】 33～42回目	アンプの種類について ギター・アンプの接続と音が出る仕組み ステージでのジェスチャーについて
【後期】 43～54回目	各種楽器スタンドの組み立て方 ピアノ・シンセ・オルガンの違い アンプ/PAから音が出る仕組み
【後期】 55～64回目	ギター/ベースの指板上の音階について コンボ/セバレート・アンプの構造
【後期】 65～76回目	アンプの各ツマミについて/音作り エフェクター各種
【後期】 77～84回目	年間の復習と総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	楽器の取扱いについては、講師の指示に従う事。また、機材在庫数の管理は細心の注意を払う事。服装については、ホール/レコーディングスタジオの服装と同様とします。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	レコーディング実習		授業形態 / 必・選	実習	選択必修
			年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	84回（168単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経歴：33年 コロムビアスタジオにてアシスタントを経験し、サウンドスカイスタジオに移籍。その後トーンマイスターにて専属エンジニアとなる。1999年よりフリーランスとなりレコーディングエンジニア、PAエンジニアとして活躍中。				
授業概要					
実際にアーティストのレコーディング～MIX～マスタリングまでの工程を学ぶ。					
到達目標					
レコーディング現場に於ける音響技術の習得					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	スタジオのシステム、機材の名称、用途、操作方法をより理解する
【前期】 9～16回目	プリプロダクション準備 ・バンド・レコーディングのセッティング、回線チェック、マイクセット、サウンドチェック プリプロレコーディング
【前期】 17～30回目	ベーシックレコーディング 楽器ダビング ボーカルレコーディング
【前期】 31～38回目	ミックスダウンについて レコーディングした曲を使って、ProToolsでのエディット、プラグイン、ミックスを学ぶ
【前期】 39～44回目	マスタリングについて 学外のスタジオでマスタリングに立ち会う
【後期】 45～48回目	さまざまなマイクの音、セッティングを学ぶ
【後期】 49～56回目	レコーディング準備のスピードアップ（反復練習）
【後期】 57～66回目	バンドレコーディング①
【後期】 67～84回目	バンドレコーディング② 機材メンテナンス～総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	レコーディングスタジオ内は飲食禁止。服装は学科規則に基づき遵守すること。歌詞・譜面の取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名		電気製作講座		授業形態 / 必・選	講義	選択必修
				年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	39回（78単位時間）	年間単位数	5 単位	
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース					
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	工具説明 ハンダの必要性の説明 ハンダの溶かし方、当て方の基本練習
【前期】 5～10回目	リード線をラグ板に接合してハンダ付け テスターの使い方について ケーブルの構造説明
【前期】 11～14回目	バランス・アンバランスについて アンバランスケーブルの線材加工練習 アンバランスケーブル予備ハンダ練習
【前期】 15～19回目	アンバランスケーブル接合練習 TSフォーンの製作
【後期】 20～24回目	バランスケーブルの線材加工練習 バランスケーブルの予備ハンダ練習 バランスケーブルの接合練習
【後期】 25～30回目	XLRケーブル(オス側)の製作 XLRケーブル(メス側)の製作
【後期】 31～35回目	TRSフォーンケーブルの製作 RCAケーブルの製作
【後期】 36～37回目	スピーカーケーブルの構造 スピーカーケーブルの製作(スピコン)
【後期】 38～39回目	スピーカーケーブルの製作(TSフォン) AM/FMラジオ製作
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	電気の基礎やケーブルの構造を実際に自分で製作しながら学んでいきましょう。同時に現場で求められる半田ごての技術習得を目指します。
使用教科書	オリジナルテキストを随時配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	映像メディア研究		授業形態 / 必・選	講義	選択必修
			年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	78回（156単位時間）	年間単位数	10単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：15年 映像制作、編集、映像オペレーターやVJなど、映像のオールラウンダー。最近では舞台映像や簡単なマッピングも制作。自身がVJとして所属するバンドでは企画から編集までオールセルフプロデュースのMVも制作。				
授業概要					
ミュージック・ビデオ、映画、CM、ドラマ、バラエティーなど様々な映像メディアを研究し、優れた作品、人をひきつける作品とはどういいうものであるかを研究する授業。					
到達目標					
数多くの作品を見、解析することで審美眼を養うと共に、なぜその作品が良いのかを伝えられるようになる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	メディア研究① 概論：どのようなメディアがあるのか考えさせ、今後の研究対象を洗い出す。
【前期】 9～12回目	メディア研究② MV、ライブビデオ
【前期】 13～24回目	メディア研究③ 映画
【前期】 25～36回目	メディア研究④ CM
【前期】 37～42回目	メディア研究⑤ ドラマ
【後期】 43～56回目	メディア研究⑥ バラエティー
【後期】 57～64回目	メディア研究⑦ ネット動画
【後期】 65～76回目	2023年、私的アワード選定～発表
【後期】 77～78回目	総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	授業用パソコンは規約に従い、丁重に扱う事。教室内は飲食不可。
使用教科書	適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	照明実習		授業形態 / 必・選	実習	選択必修
			年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	126回（252単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験45年。 演劇・ダンス照明の世界でキャリアを積む。2008年日本照明家協会特別賞受賞。講師経験も延べ10年以上に渉る。				
授業概要					
照明のプランニングからオペレートまでを理論的かつ実践的に学ぶ。					
到達目標					
照明プランニングとホールでの仕込み、本番でのオペレートのノウハウの習得し、照明の原理原則を理解している。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	安全についてのレクチャー スポットの取り扱い、介錯棒の使い方。ホール基本仕込み。
【前期】 5～16回目	SFの種板羽根の切り方 CLパトに新規仕込み空当たりの仕方
【前期】 17～32回目	一般照明のバッチ、SSの当たり方 仕込み図をみながら一般照明の回路をとる 仕込み図の書き方
【前期】 33～36回目	一般照明で明かりをつくる ピンレクチャー/LEDparを含め明かりをつくる
【前期】 37～44回目	LEDPARと一般照明のチェイス LIVE打ち込み/ピン実習
【後期】 45～56回目	MV基礎/センタービンの色かえ LIVE打ち込み/ピン高度練習
【後期】 57～76回目	一般照明とFootSSでコントラスな明かりをつくる
【後期】 77～100回目	Avoquartzの打ち込み Avoモバイルとビジュアライザー 本番オペレート、反省会
【後期】 101～126回目	ダンス作品で明かりをつくってみる
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	ホール・教室内は飲食禁止。服装は学科規則に基づき遵守すること。セット図、セットリスト、歌詞、音源の取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時プリントやPDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	映像制作実習		授業形態 / 必・選	実習		選択必修		
			年次	2 年次				
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	83回（166単位時間）	年間単位数	5 単位			
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース							
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目						該当 ☒	非該当 ☐
担当講師 実務経歴	実務経験：15年 映像制作、編集、映像オペレーターやVJなど、映像のオールラウンダー。最近では舞台映像や簡単なマッピングも制作。自身がVJとして所属するバンドでは企画から編集までオールセルフプロデュースのMVも制作。							
授業概要								
ミュージックビデオ制作を中心に映像制作のプランニングから撮影、編集までの一連の流れについて学ぶ								
到達目標								
Adobe社のPremireやAfterEffectsといったソフトを用いた基礎的な編集技術およびミュージックビデオ制作のノウハウの習得。								

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	ミュージックビデオ模擬企画制作 ・各担当決め ・企画制作
【前期】 7～16回目	ミュージックビデオ模擬企画制作 ・香盤表作成 ・スケジュール作成 ・カメラリハーサル ・撮影～編集
【前期】 17～26回目	ミュージックビデオ本番企画制作 ・企画制作、絵コンテなど資料制作 ・アーティスト、プロダクションコースにプレゼンテーション
【前期】 27～36回目	ミュージックビデオ本番企画制作 ・企画修正、報告 ・ミュージックビデオ内容確定
【前期】 37～44回目	ミュージックビデオ本番企画制作 ・資料作成、ロケハン、各種許可、カメラテストなど実施 ・撮影～編集～特殊効果等
【後期】 45～60回目	ミュージックビデオ本番企画制作 ・試写～修正～確認～納品
【後期】 61～68回目	・オンライン動画配信について ・CD発売記念ライブ撮影～編集
【後期】 69～74回目	After Effectsについて
【後期】 75～83回目	2月企画ライブ撮影～編集
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	授業用パソコンは規約に従い、丁寧に扱う事。教室内は飲食不可。撮影データの保存については、講師の指定した方法で行ってください。
使用教科書	課題に応じた教材データ（動画や画像を含む）を配布。

専門学校E S P エンタテインメント東京

授業科目名	Web実習		授業形態 / 必・選	実習	選択必修
			年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	84回（168単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：7年 大手プロダクションにて、公式モバイルサイトの運営やインターネット放送局の配信・運営に従事。デザインやコーディングをはじめ、カメラのスイッチングやミキシングなどの業務に携わり、現在に至る。				
授業概要					
Dream Weaver、Illustrator、Photoshop等を用いたホームページ制作、デザインを学ぶ。 実際にアーティストのホームページ制作まで行う。					
到達目標					
複雑な構造でないホームページのデザインやコーディングのノウハウの習得。 CMSに関する基礎知識の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	コーディング基礎
【前期】 7～14回目	グラフィックデザイン講座
【前期】 15～30回目	コーディング実践 Webデザイン講座
【前期】 31～38回目	自主作品制作①
【後期】 39～44回目	Webデザイン実践
【後期】 45～56回目	WordPressを用いて、ノーコードでサイトを作る
【後期】 57～66回目	イベントサイト制作
【後期】 67～76回目	自主作品制作②
【後期】 77～84回目	総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	授業用パソコンは規約に従い、丁重に扱う事。教室内は飲食不可。公開前データの取り扱いについては細心の注意を払ってください。
使用教科書	課題のための例題を随時データにて配布。